

22167 学校栄養指導論Ⅰ Nutritional Education in SchoolⅠ		3 年次～ 前期 2 単位	
担当者	川上 美智子／井川 聡子	履修可能学科	F
		関 連 資 格	教職必(F)
サブタイトル	学校教育の中における食育指導		
授業内容 ・ ねらい	〔この授業のねらい〕 栄養教諭の役割及び職務内容を理解する 食生活に関する歴史的・文化的事項を理解する 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題について理解する 〔授業の概要〕 食習慣の変容が著しい現代社会にあって、朝食の欠食、偏食、個食、中食や外食の増加など食習慣の乱れや高血圧、肥満の増加、栄養の偏りなど多くの課題を抱え、日本人の食環境は深刻化しています。特に、心身の発達時期にある幼児、児童、生徒など子どもたちにとっては、小さい頃から正しい食習慣を身につけることが大切です。子どもたちが自ら正しい食のあり方を学び、健康な身体を作り上げて行くため、食の指導者として新たに学校に配置される栄養教諭の役割は重大です。本講義では、①栄養教諭の役割、②日本人の食文化、③子どもたちの栄養課題など基礎的事項を概説し、学校教育や学校給食を介した食育のあり方を考えます。		
授業計画	他の教職員と連携をとりながら、年間を通じ子どもや親たちに対する食の指導を円滑に進められるよう、栄養教諭としての基本的理解を深めます。 1. オリエンテーション（栄養教諭とは） 2. 児童及び生徒の栄養の指導及び管理の意義・基本的な考え方 3. 児童及び生徒の栄養の指導及び管理の現状と課題（含む実態把握、分析等） 4. 栄養教諭の職務内容、使命、役割 5. 学校給食の歴史と意義・役割 6. 児童及び生徒の栄養の指導及び管理に係る社会的事情 7. 児童及び生徒の栄養の指導及び管理に係る法令及び諸制度 8. 児童及び生徒の栄養に係る諸問題（含む国民の栄養をめぐる諸事情の理解） 9. 日本の食生活及び食事文化（歴史と変遷）①② 世界の食生活及び食事文化（日本との違い） 10. 食材の選択（地場産品の活用など） 11～15. 教科別食指導（家庭科、保健体育、道徳、学級活動、給食の時間）		
教科書 参考書	教）笠原 賀子 編著『栄養教諭のための学校栄養教育論』（医歯薬出版）。別に文部科学省の学習指導要領を使用します。プリント配布。必要に応じ参考文献を提示します。		
評価方法	レポート及び出席状況、授業態度で評価します。		
事前準備学習 履修条件等			